

# 2013「夏のボランティア体験」感想文集



今年も多くの体験者より「夏のボランティア体験」の感想文をお寄せいただきました

(公財)えどがわボランティアセンター

社会の成熟化とともに、生きがいや自己実現を求めて、自らの知識・技術・趣味・特技などを地域社会の中で生かしたいとボランティア活動に関心を持つ区民が増えています。

「夏のボランティア体験」は、夏休みを利用して、普段からボランティア活動に関心がありながら参加するきっかけがなかった区民や児童・生徒に対し、活動を体験する場を提供する機会として実施しています。

今年は、55の活動先で166名の方々がボランティアを体験されました。

ここに、そうした皆さんから寄せられた感想文をまとめました。ご一読いただければ幸いです。

ボランティア受入れのため、ご協力をいただきました各施設・ボランティアグループなど関係の皆様へ、心から感謝申し上げます。

平成25年10月

公益財団法人えどがわボランティアセンター

## 感想文集目次

### お年寄りとふれあったりサポートする活動

「夏のボランティア体験の感想」	みどりの郷福楽園	- 1 -
「笑顔あふれる老人ホーム」	なぎさ和楽苑	- 1 -
「夏のボランティア体験を終えて」	アゼリー江戸川 区立福祉作業所 江戸川光照苑	- 1 -
「できる時に、できる範囲で」	ヴィット	- 2 -
「体験先の日々」	江戸川光照苑ケアセンター	- 2 -

### 障がいのある方と交流したりサポートする活動

「夏のボランティア体験の感想」	第二元明館プレイール	- 3 -
「ボランティア初体験」	さくらの家	- 3 -

### 子ども達とふれあいながら健やかな見守る活動

「保育園での特別なボランティア体験」	アスク西一之江保育園	- 4 -
「夏のボランティア体験の感想」	小松川おひさま保育園	- 4 -
「発見の夏」	葛西第二おひさま保育園	- 5 -
「大きくなったのゆめナンバー 1 (ワン)」	西小岩おひさま保育園	- 6 -
「保育士の仕事を体験して」	松本おひさま保育園	- 7 -
「ボランティアで学んだこと」	マリヤ保育園 船堀小学校すくすくスクール	- 8 -
「給食、最高！」	西小松川保育園	- 8 -
「1歳の差」	清新おひさま保育園	- 9 -
「保育園でのボランティア」	松本おひさま保育園	- 9 -
「夢への第1歩」	ベルカント保育園	- 10 -
「保育を通して学んだこと」	西小岩おひさま保育園	- 10 -

「読書」	西葛西図書館	- 1 1 -
「夏のボランティア体験を終えて」	中央図書館	- 1 1 -
「中央図書館と切手ボランティア」	中央図書館 えどがわボランティアセンター	- 1 2 -
「ボランティア活動を終えて」	小岩図書館	- 1 3 -
「図書館の仕事」	中央図書館	- 1 3 -
「図書館業務を体験してみて」	西葛西図書館	- 1 4 -
「初めてボランティア体験をして思ったこと」	東葛西図書館 えどがわボランティアセンター	- 1 4 -

#### 環境・自然・緑などを守り育てる活動

「ボランティア活動を通して」	葛西住宅緑の会 東葛西図書館 えどがわボランティアセンター	- 1 5 -
「葛西臨海公園 サマーフェスティバルの手伝い」	葛西臨海公園	- 1 5 -

#### その他の活動

「夏のボランティア体験の感想」	江戸川アリスの会	- 1 6 -
「夏のボランティア体験の感想」	布絵の会 えどがわボランティアセンター	- 1 6 -

#### 江戸川区内小学校すくすくスクール

「夏のボランティア体験楽しみましたヨ」	第六葛西小学校	- 1 7 -
「教職に活かせるように・・・」	第三葛西小学校	- 1 8 -
「折り紙であそぼう」	大杉小学校 大杉第二小学校	- 1 8 -

「夏のボランティア体験の感想」

(特別養護老人ホーム みどりの郷福楽園)

Kさん

(社会人 男子)

久しぶりにボランティアで介護施設を体験いたしました。  
利用者様の様子を確認しながらどうすべきかを考えなければならぬと感じた  
1日でした。

一人一人の利用者様と明るく楽しく接することができ、良かったです。  
本日はどうもありがとうございました。  
またよろしくお願い致します。



「笑顔あふれる老人ホーム」

(特別養護老人ホーム なぎさ和楽苑)

Aさん

(中学2年 女子)

私は、今回初めてボランティアを体験しました。  
老人ホームに行ったのも初めてで、一人ですごく不安でした。しかし、行って  
みると施設で働いている方々が温かくむかえて下さり、緊張がだいぶほぐれました。

施設に入所しているお年寄りの方と交流する時には、とても緊張して自分から  
は何も話すことができませんでしたが、お年寄りの方々がたくさん昔のことなど  
を話してくださったので、とても楽しかったです。

食事の配膳は、人によってご飯の量やおかずの細かさなどが違って、それら  
の量などが書いてあるプレートがのっているおぼんにごはんなどをのせるのがとて  
も大変でした。何度も間違ってしまったけれど、施設で働いている方が優しく教えて  
下さいました。

職員の方がとても明るくて笑顔をたやしません。だからお年寄りの方も  
明るくいられるのだろうと思いました。私は老人ホームは明るくない場所だと  
考えていましたが、実際は違いました。

これからたくさんボランティアをして、様々な職業を知りたいです。



「夏のボランティア体験を終えて」

(アゼリー江戸川)

(江戸川区立福祉作業所)

(江戸川光照苑ケアセンター)

Mさん

(社会人 女子)

はじめてのボランティアでした。

夏休み(40日)をどう過ごすか?との思いで3か所行ってまいりました。

1日と言わずもっと来て、1日なのでした。思っていたような仕事でした。

福祉作業所は4日も行ってしまいました。去年は(洋裁のできる人)誰もいなかった。

春休み、来年もいつでもよいので来てくださいと。私いまいち納得がいもなく、  
もっときれいに上手に作りたかった。出来上がった品物、祭り文化センターなどで  
売ると言うので、今まで気にもしなかったんですが行ってみようと思っています。

今年は行き、帰り暑かったです。

「できる時に、できる範囲で」  
(老人保健施設 ヴィット)

Mさん

(専門学校 女子)

「デイサービス」のフロアで、3日間ボランティアをさせていただきました。

1日目は、全体の流れを知るだけで精一杯でしたが、2日目からは、利用者さんとお話しする余裕が出てきました。

利用者さんと接するときは、安心感を持っていただくため笑顔を中心掛け、目線の高さが同じになるよう気をつけました。

いろいろなお話しをすることができました。

3日目の午後、「短い期間だったけど、明日から見かけなくなると思うと寂しいわね・・・」とおっしゃってくださった利用者さんが居て、そんな風に思っていたことがとても嬉しかったです。

職員の方には、お忙しい中、いろいろと教えていただきました。私が介護の仕事に就くため勉強中とお話ししたところ、便宜をはかってくださり、通常のボランティアとは違うお手伝いもさせていただきました。

学ぶことも多くとても勉強になりました。

ボランティアといえば、この施設では、10年以上通っているという80代のボランティアの方が活躍されていました。

ボランティアは、自分のやる気がある限り、いくつになってもできるものなんだなあと感じました。

私もできる時にできる範囲のボランティアを続けていけたらよいなあと思いました。



「体験先の日々」  
(江戸川光照苑ケアセンター)

Nさん

(大学2年 男子)

私は今回初めてボランティア活動をしたが、それはとても良い経験になった。

私は3日間の体験だったが、様々な経験をさせていただいた。

1日目は緊張していたが、担当のSさんが優しくサバサバした方だったので、緊張はすぐに軽くなった。ヨーヨー作りは苦戦したが楽しかったし、ご利用者様と会話させていただくときも気を使ってくくださる方もいてうれしかった。

2日目はWさんが担当をしてくださり、その日はWという名字が3人揃った珍しい日だった。

担当のWさんは物腰が柔らかく、仕事も多く与えてくださり、充実した一日にしてくださいました。

おかげで鶴が折れるようになった。

最終日はKさんが担当で、職員の中でもキリッとした方だった。

最終日になると多少は慣れてきて、暇があれば折り紙を折っていた。職員の方が気にかけて話しかけてくださったりして、少しいれしくなったり、やる気が出た。

最終日の最後に私を覚えていてくださった方が「頑張ってる」とおっしゃってくださり、とてもうれしかった。

このような体験をさせていただいてとても有意義に日々を過ごせた。

機会があればぜひまた参加したいと私は思った。



「夏のボランティア体験の感想」

Sさん

(NPO法人グループげんめいかん 第二元明館プレジャー)

(専門学校 女子)

朝のミーティングで施設長から、利用者の症状は比較的安定しているということ、楽しみながら利用者と1日過ごしてほしいということ、利用者は新しい人を快く受け入れるということをお話ししていただいた。

実際に利用者の方々と接していく中で、それらを体験する1日となった。

作業は店内の掃除や調理等、手順の多い作業であったが、利用者の方々は分担しながら、また私に指示を出しながらも、手際よく作業を行っており、能力の高さを感じた。

お昼に専門学校へのお弁当販売に同行した際には、利用者の方が率先して売り込みを行っていた。

このボランティアを通して、精神障がい者の方々は対人面に不安がある方が多いのではという考えに加えて、人との関わりを積極的に行う方もいるのだという考え方も生まれた。

また作業中や休息中には、利用者の方々からも積極的に話しかけてくれることも多く、そこから会話が弾むことも多く、コミュニケーション能力の高さを感じた。

また、博学な方や多趣味な方が多く、知らないことを聞くことでコミュニケーションの糧となる一方で、私自身ももっと視野を広げ、こちらからも話題を提供できるようになることも必要だと感じた。

学ぶことが多く、このボランティア体験に参加してよかった。



「ボランティア初体験」

Mさん

(江戸川区立さくらの家)

(専門学校 女子)

「さくらの家」で2日間ボランティアをさせていただきました。

障がい者施設を訪れるのは初めてなので、最初緊張しましたが、職員の方からいろいろと教えていただき、利用者さんと交流することができました。

利用者さんと一緒に作業したり、運動したり、お話ししたりする中で、名前を覚え、個性を知ることもできました。

たった2日間でしたが、利用者さんの笑顔に元気をもらい、最後帰りのバスに乗り込む利用者さんを送り出す時は、寂しい気持ちがこみ上げてきました。

職員の方からは、利用者さんを介助するだけではなく、時には社会で生活することを念頭に支援を考えて接することも大切と学びました。

9月上旬に行われるさくらの家のお祭りにボランティアとして参加する予定です。

顔を覚えていてくれるといいなあと、少しドキドキしています。

ボランティアは、一歩踏み出すところから始まるのだと実感しました。



「保育園での特別なボランティア体験」  
(アスク西一之江保育園)

Kさん

(高校2年 男子)

アスク西一之江保育園でのボランティアは、私にとって特に貴重な体験となった。

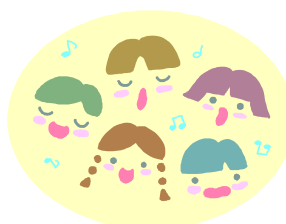
ごみ拾い等の一人でできるボランティアなら経験があったが、今回のように、相手がいて初めて成り立つ活動はしたことがなかったからである。

今回の活動の主な内容は、園児達の遊び相手と清掃等であった。

どちらも、歳の近い兄のような存在としてしたわれながら、責任感を持ってこなせたと思う。

他人の子供を預かることを通して、子供の目線で考え、責任を持って仕事をする力が養われた。

非常に貴重な体験だったと思う。



「夏のボランティア体験の感想」  
(小松川おひさま保育園)

Nさん

(社会人 女子)

8月1、2日と小松川おひさま保育園にお世話になりました。

5才児のクラスに入らせていただきました。

2日間のボランティアで感じたこと2つ。

1つは、子ども達のパワーはすごいということ。

行ってすぐに話しかけてくれ、たくさんの笑顔に元気をもらいました。

又、支援が必要な子に優しく声かけし、自然とお手伝いができる子ども達。

本当に素敵な優しい心に触れ、温かい気持ちになりました。

2つめは、先生方の子ども達への関わりのすばらしさ。

来年には小学校へあがる子ども達へ、座って話を聞くことや、みんなの為に働くことなどを生活の中に取り入れながらも、一日の大半をゆったりと安心して過ごせるように、自由遊びを存分にさせるといふ、教育と生活を自然と組みこんでいることに感心しました。

どの子も先生大好きで保育園大好き、お友達大好きな様子が伝わってきました。

充実した2日間をありがとうございました。





「発見の夏」

Mさん

(葛西第二おひさま保育園)

(高校2年 女子)

あっという間の1週間でした。

3歳児のクラスを担当させて頂き、かわいい笑顔にとっても癒されました。

1日目は、何もかも緊張しました。

急なお願いだったため、オリエンテーションに参加できず、初めて園に入り、初めて先生方の顔を見たからです。

しかし、3歳の教室に入ると子供側から寄って来てくれたので、少しホッと、嬉しくなりました。

子供のお昼寝中はトイレ掃除をお願いされました。

中学校以来でしたし、大嫌いだったはずなのに、「大好きな子供達が使っている。」と考えると、全く苦ではありませんでした。

5日目になると、子供達の名前もほとんど覚え、仲良くなることができました。

すいか割りの行事にも参加でき、とても楽しかったです。

しかし、その分お別れの時間が寂しかったです。

1週間お世話になって、気付いたことがあります。

それは、子どもの前では嫌いな食べ物でも笑いながら食べられたこと。自分で驚いてしまいました。

また、先生方の食べるスピードが速い！！

これは、「私も頑張って練習しなくてはいけないな。」と思いました。

1週間、本当にありがとうございました。

今は勉強に励み、大学へ進学したいです。

大学で保育士の資格をとったら、おひさま保育園のような、明るい楽しい園で働きたいです。



「大きくなったのゆめナンバー1(ワン)」 Oさん  
(西小岩おひさま保育園)

(小学3年 女子)

わたしは2日たいけんしてみてもいけんの子ども数が本当におおいのにびっくりしました。

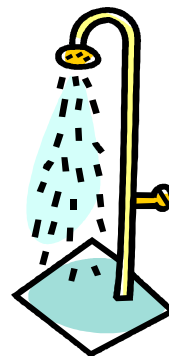
わたしが楽しかったのは、絵本や、きゅうしょくのお手つだいをいっしょにかつどうしながらやるのが楽しかったです。

(び1)びっくりしたのはトイレの時間がきまっていることです。

おむつの子がいたり、パンツの子がいたりいろいろでした。

(び2)いろいろな外でのかつどうのあとシャワーをあびるのです。

いろいろなかつどうもすんで、お昼ねタイムのときも、もうねてしまった子をおこそうとしたりする子、ねるじゅんびをしているまわりでブロックや本や、かけっこであそぶ子もいましたけど、ねそうな子や、までねたくない子がいますが、せなかを「トン、トン、トン」とやさしくたたくと、たいていの子がねていました。3時くらいになるとみんながおきてきて、ケーキやアイスの時間です。

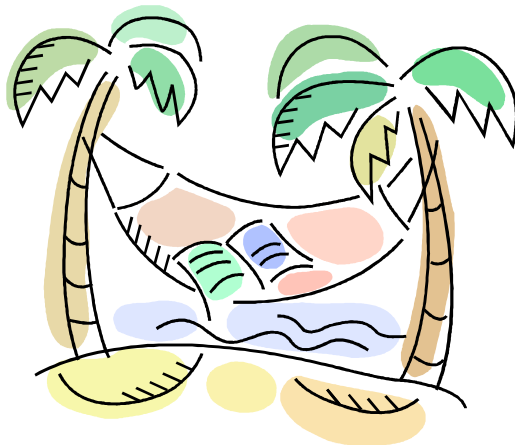


アレルギーでみんなと少しちがったデコレーションをした子もいましたけど、みんなおいしそうにたべていました。

2日かんいろいろたいけんさせてもらってありがとうございます。  
またらい年たいけんをさせていただきたいです。

(子)いろいろなことをおしえてくれてありがとう。またらい年いったらよろしくね。

2日かんありがとう。おねえちゃんみんなのことをわすれないからね。



「保育士の仕事を体験して」  
(松本おひさま保育園)

Tさん

(高校1年 女子)

今回は、松本おひさま保育園で2日間ボランティアをさせていただきました。保育園では、4歳児のクラスを担当したのですが、子ども達が想像より遥かに元気で、最初はとても驚きました。

ですが、名前を言うと、「H先生」と呼んでくれたり、「一緒に遊ぼう」と声をかけてくれたりして、とても嬉しかったです。

また、子ども達は思っていたより自分1人でできてしまうことが多く、そこにも驚きました。

ケンカをしても自分たちで解決してすごいなと思いました。

そして、子ども達がお昼寝をしている間、プールそうじや棚ふき、アイロンがけをやらせていただいたのですが、お昼寝の間はこんなことをしているのだなととても勉強になりました。



子供の相手だけでなく、このような仕事も大切なんだなと思いました。

わたしは保育園でボランティアをさせていただいたのが初めてで、不安やどうしよう?と思うことも多々ありましたが、子ども達の様子、先生方の動き、保育士の仕事内容を学ぶことができ、とても良い経験になりました。

将来は保育士になりたいと考えているので、この経験を活かし、これからもっと勉強していきたいです。



「ボランティアで学んだこと」  
（マリヤ保育園）  
（船堀小学校すくすくスクール）

Oさん

（高校2年 女子）

私は、保育園と小学校に行きましたが、成長期の子ども達が通う施設に行くことで子どもの成長の速さを見ることができました。

保育園では1・2・4・5歳児のクラスへ行かせていただきましたが、特に1歳から2歳への成長の速さに驚きました。

今まで保育園へ行ったことは何回かありましたが、1歳児のクラスへ行かせていただいたのは初めてだったので、1歳の子は、まだすぐ泣いてしまうことを初めて知りました。

このボランティアをし、今まで知らなかったことを知ることができました。

そして、自分自身も成長できたと思います。



「給食、最高！」

（西小松川保育園）

Sさん

（高校2年 男子）

私は夢が保育士なので、今回参加しようと思いました。西小松川保育園では2才児のお世話をさせてもらいました。

最初組に入った時は何をすればいいかわからず、止まってしまいました。

でも、クラスのお友達が電話で「もしもしお姉ちゃん？もしもし」と話しかけてくれました。とてもうれしかったです。

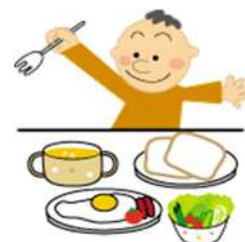
絵本を読んだり、ブロックで『ショベルカー』を作ったり、お料理したりと色々なことをして遊びました。担任の先生が「10（10分）になったらおかたづけするよー」と言うと、てきぱきおかたづけして、ぼーっとしている友達がいたら、声をかけていて、すごいなあと思いながらもカワイいなあとも思っていました。

プールや川に入って遊ぶ時も先生との約束をちゃんと守って楽しんでいました。

小さいえびやざりがに、あめんぼを見つけてうれしそうによるこんでいました。

給食は昔を思い出すような、やさしい味でとてもおいしかったです。

今回参加して夢が深まり、保育士の楽しさや喜びがよく分かりました。参加して本当に良かったです。



「1歳の差」

Sさん

(清新おひさま保育園)

(高校3年 女子)

私は3日間、「清新おひさま保育園」のボランティアをしました。

1日目は、1歳児を担当しました。

1歳の年齢が高い子と低い子の2チームに分かれていました。

私は低い子と一緒に砂遊びをしました。こどもはカップに砂を入れて、1人遊びをしていました。

お部屋に戻り、一緒にお歌の絵本を見ながら打歌ったり、ブロック遊びをしました。

1歳児は、まだ言葉を話せない子がほとんどで、少し戸惑いました。

でも、楽しく遊ぶことができて楽しかったです。

2、3日目は、2歳児を担当しました。こども達と少し遊んだ後、プール遊びをしました。

プールに入る前に、先生がプールの注意事項を説明していました。

水の中は危険なので、重要なことだと思いました。水に慣れる為、あひる歩き、わに歩きをした後、自由に泳いで気持ちよさそうでした。

絵本の読み聞かせでは、こどもが1人、2人・・・6人と集まりました。

絵本の世界に入っていて、楽しそうな表情をしていて良かったです。

2歳児は、皆と仲良く遊んでいました。

言いたいこともしっかり伝えられる年齢だと思いました。

保育士の仕事はこどもと遊ぶ体力、こどものしつけ、他の保育士と協力、日誌記入が大切という貴重な体験をすることができました。

ありがとうございます。



「保育園でのボランティア」

Mさん

(松本おひさま保育園)

(高校1年 女子)

今回、初めて保育園でのボランティアをしてみて、色々な体験ができました。

園児と遊ぶことだけでなく、先生たちの子供たちに対する接し方を見て、あまやかすだけでなく、厳しくすることも大切なんだなと思いました。

私は5歳児の担当で、みんな、自分のことは自分でできる様にすることを先生から教えられていたため、着替えや給食の配膳、昼寝の準備など自分たちの力でやっていることにおどろき、すごいと思いました。

私が同じくらいの年の頃は自分のことを1人でできなかつたと思います。

私は幼稚園に行っていたので、保育園と幼稚園の違いも見れて良かったです。

私は将来、保育士になりたいと思っているので、今回のボランティアはとても良い経験になりました。

「夢への第1歩」

Oさん

(ベルカント保育園)

(中学1年 女子)

私がボランティアした保育園は昔「白鳩第二保育園」で小さいころ行った保育園です。

だからより楽しみにしていました。

そもそもこのボランティアをやるきっかけは、将来保育士になりたいからです。

その夢への第1歩としてやりました。じっさいやってみると想像以上に大変で保育園のころの先生に申しわけない気持ちになりました。

でも、それ以上に小さい子供達とふれあう楽しさ、ありがたさを感じました。

すぐきんちょうしていたのに教室に入ったらみんな集まってくれて、きんちょうもほぐれ楽しく遊ぶことができました。

あっと言う間に1日がすぎていってしまいました。

夏休みに2回しかないきちょうな時間。本当に最高でした。

今回のボランティアをして将来保育士になりたいという気持ちが、何倍も何十倍もつよまりました。

次のきかいが楽しみです！！



「保育を通して学んだこと」

Mさん

(西小岩おひさま保育園)

(大学2年 女子)

今回、私は自分が通っていた保育園のボランティアに参加しました。

15年振りに訪れて思ったことは当時と比べて何もかもが小さくなっている気がしました。また、お世話になった先生も覚えていてくれて嬉しかったです。

私は1歳児クラスと5歳児クラスを担当させてもらいました。

1歳と5歳では雰囲気や言葉も全然違っていて改めて驚きました。

可愛い子供たちと過ごす時間は、とても楽しくあっというまででした。

来るたびに、どんどん仲良くなりました。

そうじやおもちゃの消毒、行事の用意などの仕事をして保育士の大変さを知りました。

先生方にフォローされて、自分から進んで仕事をするようになりました。

言われなくても先を読んで動く大切さを教えてもらいました。

自分が小さいころも先生達はこういう事をしていたんだなぁ...と思いました。

子供の安全を優先し、一人一人にどう対応していけばいいか、どうしたらその子が喜ぶかなど普段の生活では考えられない事をたくさん考えました。

そして子供の笑顔には、大きな力があると思いました。体はつかれていても精神的につかれる事はありませんでした。

充実した体験をさせていただき、先生方、子供達にとっても感謝しています。

今回学んだことを忘れず、これからの人生に活かしていきたいと思います。

ありがとうございました。



「読書」

Aさん

(西葛西図書館)

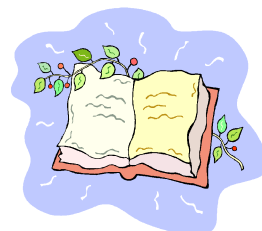
(中学2年 女子)

私は、西葛西図書館でボランティア体験をさせていただきました。  
体験した内容は、配架と書架整理と交換便と回送です。  
どの仕事も普段できないものなので楽しかったです。  
特に交換便の仕事のバーコードを読み取る作業が  
おもしろかったです。

本とかかわることがあまりなかったけれど、実際本に  
ふれてみたりすると本に興味を持つようになり、読書が  
好きになりました。なので、これからも本をたくさん  
読んでいきたいです。

この体験で、本とかかわることだけではなく、図書館員の方々や利用者の方  
々とかかわって、仕事をするという社会的なことも学びました。

楽しかったです。ありがとうございました。



「夏のボランティア体験を終えて」

Tさん

(中央図書館)

(中学3年 女子)

いつも利用している図書館の裏側や、図書館での仕事を知ることができて良かったです。

図書館といえば、カウンターでの仕事のイメージが強かったのですが、実際に  
やってみると、本を運んだり、整理することの方が多くて大変なんだなと思いました。

配架をしているうちに、本の配置が分かってきて、お客さんに本の場所を聞かれた  
時に答えることができて良かったし、喜んでいただけたので、とても嬉しかったです。

本の修理は専用ののりがあって、簡単にできて驚きました。

本の汚れをクリーナーで拭いたら、新品みたいにキレイになってすごいなあと  
思いました。

職員のみなさんはとても優しく、「とても助かります」と言われてやりがいを感じ  
ました。

子どもたちが楽しそうに本を読んでいたりと、親御さんが子どもに読んであげたりし  
ている姿を見て、なんだか心が温まりました。

3日間のボランティア体験は良い経験になったので、参加して良かったです。



### 図書館

私は本がとても好きで、このボランティアをした図書館にもよく行っていました。

そんな私は幼い頃から図書館で働いている方を見て「私もあの仕事をしてみたい!」  
とっていて、今回、ボランティアという形で、図書館の仕事を実際に体験することで、  
幼い頃からの夢が叶ってとてもうれしかったです。

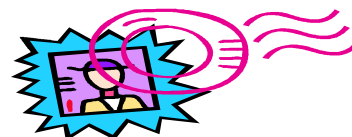
やはり、見ているのと実際に行うのとでは、かなり差があり、利用者として見ていた  
時は、「やってみたい」と思っていた配架も本が重く、返ってくる量も非常に多いので、  
どんどんつらくなってきました。



しかし、本がたまっていては、利用者の方が探している  
のに見つからなくて困ってしまうと考え、ハイスピードで  
配架しました。

その途中では、私に声をかけて、本の場所を聞いてくる  
子供やお母さんもいて、1つ1つに丁寧に返せるように努力  
しました。また、最初の方で本の位置がわからなかった  
私に、「その本、私が返したのだから場所わかるよ」と声  
をかけてくれた女の子もいました。

私は子ども図書館を担当したので笑顔でいる様  
心がけていました。たぶん、本の場所を聞いてきた  
方たちも、私が笑顔だったから声をかけたのでは  
ないでしょうか。これには理由があり、私自信が  
そうだったからです。何を聞いても笑顔で接してくれた  
職員の方を思い出し、やるからには笑顔で取り組みたいと  
思いました。そして自分的にはとても満足した結果で  
終わらせることができたと思えました。



### 切手回収

まず、私は段ボールの中に入っていた切手の量にとっても驚きました。

切手は、そこまで気にしていなければ、回収箱には入れないのに、たくさん入っている  
のを見て、「江戸川の人にはボランティア意識が高いんだな」と思いました。回収箱にも  
書いてなさそうなので、もっと大々的に言うべきだと思いました。

このたびは大変貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

「ボランティア活動を終えて」  
(小岩図書館)

Tさん

(高校1年)

学校からの課題とはいえ自分で志願した活動先である図書館。親しい友人と2人ですることになったのは良いけれども、やはり「課題」であり、人と接するのも余り得意ではないし、何より初のボランティアであったため、人に無償で尽くすということに対して多少なりとも抵抗はありました。ですが、向こうに着けば現場の方々はとても温かかったです。

図書館について右も左も分からないといった状態の私達に配架やパソコンでの作業等一から指導して下さったので、(多少のミスはあれども)ある程度スムーズに作業を進めることができました。

そしてその中で、私の心には一種の充実感がありました。

本当は私達が下手で、かえって向こうの方の迷惑となっていたのかもしれない。

ですが、丸一日という長丁場を乗り切った私には、やりがいに対する確かな達成感がありました。



「図書館の仕事」  
(中央図書館)

Oさん

(中学3年 女子)

学校の宿題でやらなくてはいけないからという理由でボランティアを探し、本を読むのが好きだからという理由でボランティア先を図書館に決めた。

初めに少し説明を受けて、すぐに配架が始まった。

児童室で本棚が低かったこともあり、立ったり、しゃがんだりと思ったよりも足を使った。しかし、慣れてくるとシリーズで順番に並べたり、本を揃えたりと余裕も生まれた。

途中、本の修復や予約の入った本の抜き出し作業もした。

図書館の人は貸出・返却業務を行っているイメージが強かったが他にもさまざまな仕事をしているということがよくわかった。

終わった後は、足が疲れていたが、良い経験をできたという気持ちの方が大きかった。

また、これからも本は大切にし、図書館をたくさん利用したいと思った。

お世話になった図書館の皆様、本当にありがとうございました。



「図書館業務を体験してみて」  
(西葛西図書館)

Kさん

(大学3年 女子)

大学では司書資格取得のための授業を受けているので図書館業務に興味がありました。書架整理等普段経験できないことをやらせて頂き、とても楽しかったです。初めて図書館員側に立たせていただきましたが、私自身は図書館スタッフのエプロンを着たとはいえ、ただのお手伝い程度に思っていました。

しかし、利用者の側はエプロンを着けているのを見て、探している本のこと等を質問するわけで、私の経験値の少なさは利用者の側には全く関係ないということがよくわかりました。

利用者対応は難しく、うまく対応できたのではと思えたことはほとんど無かったのですが、私の対応がたどたどしくても、利用者の方は皆さん「ありがとうございます」とおっしゃってくださり、もっと上手になりたいと思うと同時に嬉しく思いました。

私にとってはボランティアというより、インターシップのような体験でしたが、とても良い経験をさせて頂いたと思います。



「初めてボランティア体験をして思ったこと」  
(東葛西図書館)  
(えどがわボランティアセンター)

Iさん

(高校2年 女子)

私はこの夏、2つのボランティア体験をしました。

1つ目の活動先は、地元にある江戸川区立東葛西図書館でのボランティア体験でした。仕事は、割と簡単でただ返却された本を元の所に戻したり、あきらかにこの本は、ここではないなという本は、元の所に戻したりのくり返し作業をしました。

2つ目の活動先は、グリーンパレス内のボランティア体験でした。ここは、ひたすら切手の周りの紙を切る仕事でした。最初は無言でひたすら切っていましたが、途中ボランティアに来ていた方達と話しながら切りました。



2つのボランティア体験をしてみて私はボランティアをすることはとてもやりがいがあるし、終わった後の爽快感！！

この夏のボランティア体験、とても楽しかったです。来年はもっと多くボランティア体験をしようと思う程ますます興味を持ちました。

「ボランティア活動を通して」  
（葛西住宅緑の会）  
（東葛西図書館）  
（えどがわボランティアセンター）

Iさん

（高校3年 女性）

私は、今年の夏、様々なボランティア活動に参加しました。  
その中で、私が一番印象に残っているのは、8月18日に参加した  
「葛西住宅緑の会」という花壇の手入れをしているボランティアです。  
最初は、私以外お年寄りの方々に、うまく接していけるか不安だけ  
でした。

でも、皆さんとても気さくで優しい方々に、お花のことを教えてくだ  
さったり、色々なお話をしてくれました。



私もだんだん打ち解けていき、皆さんの  
元気で明るい笑顔から、沢山の元気をもらえた  
気がします。

ボランティアは今まで関わることのなかった人と  
関わるができるものだと思います。

だから私は、これからも多くのボランティアに  
参加し、誰かの役に立つことをしたり、多くの  
人と出会って沢山お話をしたいと思いました。

「葛西臨海公園 サマーフェスティバルの手伝い」  
（葛西臨海公園）

Iさん

（高校1年 女子）

ボランティアを体験させて頂き、ありがとうございました。  
色々な体験ができました。

小さな子供やその親の方々に、「ありがとう」  
「ありがとうございました」「また、来るね！」  
「楽しかった」といった一言で、すごくうれしく  
なりました。

感謝の言葉に、感謝の気持ちでいっぱいになって、  
ボランティアをすること、人と関わり合うことの大切さや、  
素晴らしさを知りました。

今回の経験をもとに、これからの生活にいかしていきたいと  
思います。

そして、ぜひまた、ボランティア体験をしたいと思います。  
その時はまた、よろしくお願い致します。





「夏のボランティア体験の感想」  
(江戸川アリスの会)

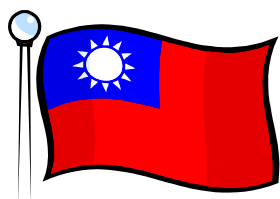
Kさん

(社会人 女子)

7月22日、江戸川アリスの会にボランティア参加致しました。  
当日はフランス、台湾の学生さんとお茶、お琴と日本文化の  
紹介、交流しました。

普段お会いする機会のない学生さんとの交流は、短い時間でしたが  
とても楽しかったです。

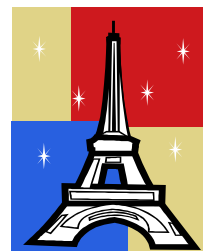
日本文化は、日本人でもなかなか親しむことのないものですが、  
改めて日本の良さ、文化の奥深さを知るよい機会となりました。



アリスの会の方々もとても親切に接して下さい、少々  
緊張気味の私を心良く受け入れて頂き、とても有難かったです。

また、この様な機会がありましたら、ボランティアとして  
参加したいと思っております。

いろいろと有難うございました。



「夏のボランティア体験の感想」  
(布絵の会)  
(えどがわボランティアセンター)

Nさん

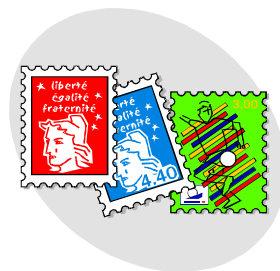
(社会人 女子)

ボランティア切手整理 8月22日a.m.9:30~a.m.11:30

ボランティア体験として何をしようかと考えた時、”切手整理”とは何をするの(?)  
という思いがあって申し込みました。

とても地味な作業ですが、ハサミを持って切手の  
回りの紙をカットしていると、なぜか気持ちが落ちつ  
いてきました。

体験した事はこのボランティアのほんの一部だと思  
いますが、小さな地味な作業が少しずつあつまって、役に  
立っていくのでしょうか。そんな風に少しでもだれかの  
役に立つ事をやっていけたらと思います。



布絵の会 8月24日p.m.1:00~p.m.4:00

体験に参加した日、皆さんの作品を見せていただきました。ていねいな針目で、  
きれいな作品でした。区内の保育園などに置いているそうです。私の孫が通う保育園  
にもありそうです。皆さん楽しそうに自分のペースで作業されていました。

もともと針で何か作るのは好きでしたので、  
小さな作品を1つ仕上げることができました。

同じ会が家に近い場所にもあるということで、  
9月にそちらの方も見学させていただく事になりました。  
自分らしい作品を自分でも作ってみたいと思います。





「夏のボランティア体験楽しみましたヨ」 Yさん  
(第六葛西小学校すくすくスクール)

(社会人 女子)

すくすくスクールの体験を選んだのは、日頃の活動とチョコッと違うことをしよう  
したのと知り合いが2人いたから。

日時は自分の都合の良い日。活動の内容は打ち合わせで決めた。

『カロム』というビリヤードとおはじきをたしたようなゲームと『こわ~い話し、江戸川  
区の昔ばなし』。

当日は10時から自己紹介、質問から始まり、顔を覚えてもらう。次に冷房の入る  
教室で『カロム』。ほとんどの子供が初体験で、ゲームの説明をして2ヶ所で開始。

子供って、タイシタモンですね。ゲームをおぼえ、教えたり注意したり。

アツという間に午前中が終わり、昼は1時間ゆっくりすごす・・・はずだったが、  
なんかで『腕ずもう』をすることに。

私は古稀だが、心おだやかな高齢者ではなく、『こんなチビ共には負けない』と  
次々に大人気なく子供を打ち負かし、最後に4-5人の子供にむらがられて「勝った~」  
と子供たち。

《家に帰って腕をマッサージしてシップを貼ったからかいまだに「イタミナシ」》

午後は、『こわ~い話し』と学校の近くにある馬頭観音が出てくる『狸松』と篠崎の  
『きつねと魚うり』の話。

それから16:00まで『カロムミニ大会』。

「また来てね~」の言葉でサヨウナラした。

夏のボランティア体験は、ボランティアをしたことがない人がやってみようカナと  
いうミニ体験だと思っていたが、私のようにすでに活動している人にもおすすめ出来る  
体験だと思う。

ナカナカ楽しい思い出になりました。

サテサテ来年は年を一つとりまして69才になった気分で夏のボランティア体験を  
楽しもうと思います。



「教職に生かせるように・・・」 Kさん  
(第三葛西小学校 すくすくスクール)

(大学2年 女子)

私は、今回初めてボランティアに参加しました。大学で教職の授業を受けているため、子どもと関わりたいと思ったのがきっかけです。

第三葛西小学校は母校なので、先生方やスタッフのみなさん、児童も明るく私を迎えてくれました。

5日間のボランティア、毎日新たな発見がありたくさんのことを学びました。

児童は、素直でかわいいと思う反面、数人からいっぺんに声をかけられて対応に困ってしまうこともありました。

また、かぜのご学級の児童と接することもできて良かったです。

注意する方法1つにしても、声かけ1つにしても、その子に合った方法を選ぶというのはとても大変なのだ分かりとしました。

このボランティアで学んだことを生かし、しっかりと先生になるために頑張ろうと思いました。

そして、機会があればもう一度母校に戻ってボランティアしたいと思っています。ありがとうございました。



「折り紙であそぼう」 Yさん  
(大杉小学校 すくすくスクール)  
(大杉第二小学校 すくすくスクール)

Yさん

(社会人 女子)

大杉小学校に8/13、大杉第二小学校に8/22、双方とも午後に体験させて頂きました。夏休みとあって子供の人数は少ないということでしたが、私にとっては初めてなので良かったと思います。

皆元気で(にぎやかで)けんかがはじまったり大変な場面もあり、ちょっとびっくりしましたが、先生方の指示のもとどうにか・・・。男の子はコマや飛行機に、女の子もコマやひまわり、金魚に興味をもってくれ、学年に関係なく折り紙の好きな子はじょうずに折っていました。

次回双方とも9月に一回づつ予定させていただきました。

皆に好かれる作品を探すのが大変ではありますが楽しみでもあります。

折り紙の好きな子がいる限り、私もできるだけ頑張りたいと思います。





## 編集

公益財団法人えどがわボランティアセンター

〒132-0031

江戸川区松島1-38-1

03 5662 7671

ホームページ [edogawa-vc.jp/](http://edogawa-vc.jp/)